

Figma(フィグマ)利用のアカウント作成(ログイン)

講座受講の事前準備

Figmaのご利用について

まずはFigmaの公式サイトにアクセスしてアカウントを登録しましょう。

ページを開くと、Cookieの注意事項が表示されることがあります。

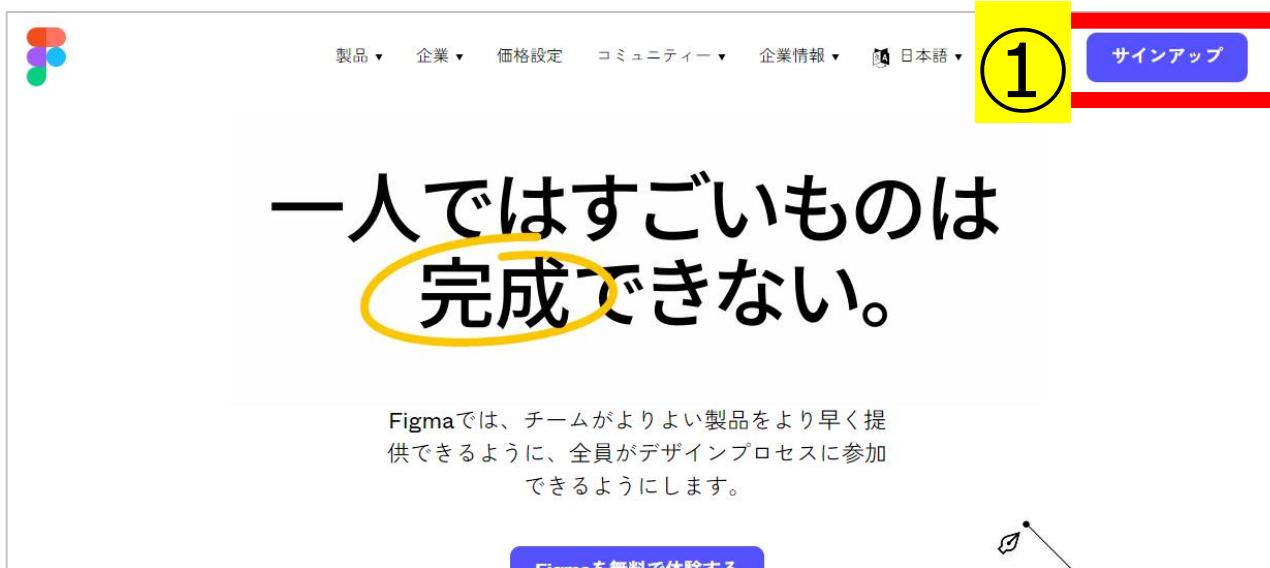
※ご利用に不安がある場合は、講師の操作のご視聴のみでご参加ください。

Cookieについて

ご不安な場合は、こちらの情報（外部サイト）などをご参考にご利用の可否をお決めください。

Canvaの登録方法（はじめての場合）

①画面の右上にある「サインアップ」をクリックしてください。





②アカウントはメールアドレスだけでなく、
Googleのアカウントを使用することもできます。

ご自身の方法を選択して次へ進んでください。

③「Googleで続行」を選択した場合、次画面で
使用できるGoogleアカウントが表示されます。

Figmaで使用したいGoogleアカウントを選択してください。

④「自分の情報」と、Figmaの利用目的を登録します。
入力・選択後「アカウントを作成」をクリックしてください。

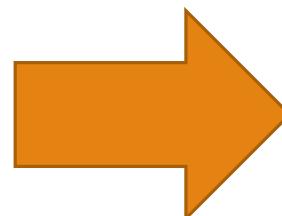
自分の情報

大沼紀子

どのような仕事ですか? *

Figmaのメーリングリストへの参加に同意します

アカウントを作成



⑤Figmaを利用するチームを登録することもできます。
今回は登録しないので、
右上の「後で」をクリックしてください。

Figmaへようこそ

チームの情報を入力してください

チーム名

チーム名を指定

後で

⑥プランの選択画面が表示されます。

今回のご説明では無料プランで利用するので、右側の「無料で利用開始」をクリックします。

The screenshot shows a comparison between two plan options: 'Starter' and 'Professional'. The 'Professional' plan is highlighted with a yellow background and has a larger font size for its title and descriptions.

チームのプランを選んでください

| プラン | 内容 | 料金 |
|-----------|---------------|---------------------------------------|
| スターター | Figmaを試用中のチーム | |
| プロフェッショナル | プロフェッショナルチーム | ¥1,800/月/Figma編集者 ¥450/月/FigJam編集者 |

プランの選択

スターター

Figmaを試用中のチーム

- ドラフトのファイル数無制限
- 3デザインファイル
- 3 FigJamファイル
- 1プロジェクト
- 30日分のバージョン履歴

無料で利用開始

プロフェッショナル

プロフェッショナルチーム

- ファイル数無制限
- プロジェクト数無制限
- 共有可能なチームライブラリ
- バージョン履歴無制限

¥1,800/月/Figma編集者
¥450/月/FigJam編集者

プロフェッショナルを選ぶ

⑦作業を選ぶ画面が表示されます。

どちらかを選択するか、この状態でブラウザを終了し再度公式URLで表示しなおしてください。

まずどちらの作業を行いますか?

テンプレートを使って今すぐ始めましょう



コミュニティのリソースを参照して、[さまざまなアイデアを得てください](#)

[テンプレートを使用しない](#)

⑧登録完了です！

こちらで事前準備は完了となります。

講座参加時にはログインできた状態でお待ちください。

The screenshot shows the FigJam dashboard interface. On the left, there's a sidebar with sections for 'Recent files' (including 'Diagram basics in FigJam', 'Daily sync', 'Team meeting agenda', and 'User persona'), 'Community' (with a 'Community' button), and 'Upgrades' (with a 'Upgrade now' button). The main area has a search bar at the top. Below it, there are three buttons for creating new files: 'Design file' (for design and prototypes), 'FigJam file' (for whiteboards and diagrams), and 'Import file' (for files from other tools). A section titled 'FigJam template to reference' displays four templates: 'Diagram basics in FigJam' (red background), 'Daily Sync Template' (purple background), 'Team meeting agenda' (blue background), and 'User persona' (yellow background). At the bottom, there are filter and view mode buttons.